

## 2010年度研究業績

明石 真和 教授

【現在の研究テーマ】

ドイツ語学（主としてドイツ語史）、ドイツ文化（主としてドイツサッカー史）

【論文】

「教材としてのグリム童話」（『駿河台大学論叢』第40号，2010. 7，pp. 137-160）

【報告書・研究ノート・その他】

講演「栄光のドイツサッカー物語」 駿河台大学喜楽学（2010. 6）

講演「ドイツサッカー強さの秘密」 日独協会（2010. 8）

エッセー「銚子が燃えた夏」野球体育博物館ニュースレターVol20./02(2010. 8)

秋山 洋子 教授

【現在の研究テーマ】

中国のジェンダー問題，中国女性文学

【論文】

「コロンタイの恋愛論の中国への紹介をめぐって」（『駿河台大学論叢』第40号，2010. 7，pp. 71-90）

【報告書・研究ノート・その他】

「日本文学中的“贞贞”：重读田村泰次郎的《肉体的恶魔》」（『丁玲研究』第1期，2010. 4）

「20世紀70年代的日美女性運動与丁玲」（『人文国際・第2輯』廈門大学出版社，2010. 9）

書評『中国残留日本人という経験——「満洲」と日本を問い続けて』（蘭信三編，勉誠出版）（『中国研究月報』No.752，2010. 10）

【学会報告】

「現代中国における〈女性主義〉の系譜」（現代中国学会大会〈現代中国の

ジェンダー問題) 分科会報告, 於: 中央大学, 2010. 10. 17)

池野 秀弘 教授

【現在の研究テーマ】

日本国内における地域物価水準の決定要因

【学会報告・その他】

“Convergence of Local CPIs in Japan with Structural Breaks” (研究報告, 2010年度統計関連学会連合大会, 於: 早稲田大学, 2010. 9. 6)

“Convergence of Japanese Local CPIs with Structural Breaks” (研究報告, 2010年度日本金融学会秋季大会, 於: 神戸大学, 2010. 9. 25)

市川 哲郎 准教授

【現在の研究テーマ】

マルチエージェント・シミュレーションを用いた, 新貿易理論の再検討

市川 紀子 准教授

【現在の研究テーマ】

財務会計論の理論基盤の研究, 中心観を基軸とした計算体系の再検討, 教養としての簿記に関する研究

【論文】

「簿記教育の淵源」(『日本簿記学会簿記教育研究部会: 最終報告書「教養としての簿記」に関する研究』第1部第1章, 2010. 8, pp. 7-14)

「大正期の簿記教育」(『日本簿記学会簿記教育研究部会: 最終報告書「教養としての簿記」に関する研究』第1部第2章, 2010. 8, pp. 15-21)

「リース会計に関する一考察—中心観を基軸として—」(『駿河台経済論集』第20巻第2号, 2011. 3, pp. 107-126)

【報告書・研究ノート・その他】

「第25回全国大会・簿記教育研究部会(中間報告)『教養としての簿記』に関する研究」(上野清貴部会長, 共同報告)(『日本簿記学会年報』第25号, 2010. 7, pp. 7-12)

【学会報告・その他】

『『教養としての簿記』に関する研究』（上野清貴部会長，共同報告）（日本簿記学会第26回全国大会，日本簿記学会簿記教育研究部会最終報告，於：京都産業大学，2010. 8. 28）

「簿記教育の淵源・大正期の簿記教育」(簿記教育研究会第20回研究会，於：全国経理教育協会会館，2011. 1. 23)。

【学外・学内の研究助成受給状況】

(学内) 平成22年度特別研究助成費「包括利益の導入と純利益の純化」(共同研究)

市原 博 教授

【現在の研究テーマ】

日本企業の人的資源管理の歴史，日豪鋳山業の比較史

【学会報告】

「日立製作所の新製品開発と技術者の現場主義」(経営史学会全国大会，於：札幌大学，2010. 10. 2)

“Who were Japan’s skilled workers, and how were they trained?” (国際セミナー ‘Apprenticeship transformed and skilled workers redefined in the twentieth century: qualifications, ability and science’ 於：東京大学，2010. 12. 13)

【学外・学内の研究助成受給状況】

(学外) 平成22～24年度科学研究費補助金 基盤研究(C) 「日豪鋳山業における技術・管理人材の形成とマネジメントの発展に関する比較史的研究」課題番号22530345

(学外) 平成21年～23年度科学研究費補助金 基盤研究(B) 「ホワイトカラー形成の比較史的研究」課題番号21330081 (連携研究者)

(学外) 平成20年～23年度科学研究費補助金 基盤研究(B) 「労務管理の生成と終焉に関する総合的歴史研究」課題番号20330071 (分担)

(学外) 平成22年度日本経済研究センター研究奨励金「戦前期職場の人材の働き」(分担)

伊藤 雅道 教授

【現在の研究テーマ】

大型陸生貧毛類の自然史研究, 里山生態系の生物多様性および自然再生

【報告書・研究ノート・その他】

「ハッタミミズ」(『改訂レッドリスト付属説明資料 その他無脊椎動物(クモ形類・甲殻類等)』, 環境省自然環境局野生生物課, 2010. 3)

「ESS2009富山実施報告 陸生大型ミミズ類の研究法入門～野外採集から種同定まで」(『ミミズ情報通信』第36号, 2010. 4)

「齋藤報恩会博物館のミミズ標本国立科博に移管さる」(『ミミズ情報通信』第36号, 2010. 4)

「クマムシ学の大先達森川國康先生を偲ぶ」(『Edaphologia』第86号, 2010. 5)

「気持ち悪い?でも, おもしろいミミズの世界」(『私たちの自然』第51巻第558号, 2010. 7)

【学会報告・その他】

「フトミミズ科の生息地選択」(共同報告, 第16回野生生物保護学会・日本哺乳類学会2010年度合同大会, 於: 岐阜大学, 2010. 9)

海老根 敦子 教授

【現在の研究テーマ】

品質創造システムのコミュニケーション論的研究, ハイパフォーマンス製造企業の研究

【論文】

「IFM(相互作用する場のモデル)を用いた中小製造企業における組織内コミュニケーションの解析」(『オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー学会 第2回全国研究発表大会論文集』pp. 22-29, 2010)

【報告書・研究ノート・その他】

「調査報告書 企業内コミュニケーションと品質力に関するアンケート」(平成20年度～平成22年度科学研究費補助金研究成果報告書, 2011. 3)

【学会報告】

「IFM(相互作用する場のモデル)を用いた中小製造企業における組織内コ

2010年度研究業績

コミュニケーションの解析」(オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー学会 第2回全国研究発表大会, 於:神戸大学, 2010. 6. 19)

【学外・学内の研究助成受給状況】

(学外) 平成22年度科学研究費補助金 基盤研究(C) 「非正規雇用増加期の製造企業品質創造システム改良に関するコミュニケーション論的研究」 課題番号20530325

大松 寛 准教授

【現在の研究テーマ】

非対称情報下での市場取引の分析, 展開型ゲームによる競争均衡の特徴付け

大森 一宏 教授

【現在の研究テーマ】

地域産業の組織化に関する歴史的研究

【学会報告】

「戦後の瀬戸ノベルティの成長と衰退」(経営史学会第46回全国大会, 2010. 10)

【学外・学内の研究助成受給状況】

(学外) 平成22年度科学研究費補助金 基盤研究(B) 「各地方税務監督局『税務統計書』を用いた近代日本の商業展開についての実証研究」 課題番号22330106 (分担)

(学外) 平成22年度科学研究費補助金 基盤研究(C) 「戦後日本の地域産業の発展と変容」 課題番号20530313 (分担)

大山 明男 准教授

【現在の研究テーマ】

環境と公正, リベラルな社会の条件, 規範理論のための社会認識とその方法

小澤 伸光 教授

【現在の研究テーマ】

小規模製造業における知識変容過程, オペレーショナル・リスク・マネジメ

ント

【報告書・研究ノート・その他】

「新製品・新技術開発型中小企業における知識変容過程：埼玉県西部地域ならびに隣接地域を中心にして」(『経済研究所所報』第13号, 2010. 9, 71-88)  
(共著)

【学外・学内の研究助成受給状況】

(学内) 平成22年度経済研究所指定研究助成金 「地域企業における伝統と革新：経営者行動の連続と変化を中心にして」(共同)

狩谷 求 教授

【現在の研究テーマ】

大学における金融経済教育, 国際金融の資金循環

【報告書・研究ノート・その他】

「ライフプランニングテキスト」(学内のテキスト)

清海 節子 教授

【現在の研究テーマ】

意味論, 語彙論

【論文】

「名前とネーミングの考察—愛称・会社名・ペットの名前—」(『駿河台大学論叢』第41号, pp. 81-103, 2011. 1)

【報告書・研究ノート・その他】

駿河台大学 春の公開講座：楽しく学ぶ英語A 『初歩から学ぶ英会話』(駿河台大学 2010. 6. 12/19)

孔 炳龍 教授

【現在の研究テーマ】

減損会計, 包括利益と純利益, リース会計, 非財務情報の有用性

【論文】

「資産会計(3)—繰延資産と識別可能資産—」(『駿河台大学論叢』(駿河台大学) 第40号, 2010. 7, pp. 225-242)

2010年度研究業績

「減損損失の未実現に関する事実解明理論の構築」(『會計』第178巻第3号, 2010. 7, pp. 391-405)

「会計方針の変更と投資意思決定—行動経済学的アプローチ—」(『経理研究』(中央大学)第54号, 2011, pp. 276-292)

「リース会計及びリース税制に関する一考察—機能的固定仮説について—」(『駿河台大学論叢』(駿河台大学)第41号, 2011. 1, pp. 145-173) (共著)

【学内の研究助成受給状況】

(学内) 平成22年度特別研究助成費「包括利益の導入と純利益の純化」

佐川 和彦 教授

【現在の研究テーマ】

日本の医療経済についての実証分析

【論文】

「組合管掌健康保険の保険料率と加入者の受診行動について」(『厚生の指標』第58巻第2号, 2011. 2, pp. 31-36)

高垣 行男 教授

【現在の研究テーマ】

グローバル経営戦略の分析

【著書】

『経営学』 ボーダレスエージ 2010

【論文】

“Japanese firms’ environmental strategy: Examples from electronics-related industries”, (‘Asian Business & Management’, Vol. 9, 2, Palgrave-Macmillan Ltd., pp. 245-264)

【研究ノート】

「極東地域における電子関連ビジネスの経営者比較分析」(『駿河台経済論集』第20巻第2号, 2011. 3, pp. 153-175)

田中 友義 教授

【現在の研究テーマ】

EU経済統合の実証研究，日本企業の欧州経営戦略の事例研究，日米欧多国籍企業の経営戦略研究—企業戦略の国際比較，日米欧の企業経営研究—企業統治の国際比較

【論文】

「欧州経済の再生への挑戦—「リスボン戦略」から「欧州2020」戦略への移行と課題」(『経済学論纂』(中央大学経済学部)，第51巻第1・2合併号，2011. 3，pp. 91-104)

「深刻化するEUの過剰財政赤字」(1)(2) (『MUFG BizBuddy』(三菱東京UFJ銀行)，2011. 2. 14/22，9頁)

「最近のEUの景気・雇用情勢について—景気は緩やかに回復，財政リスクで先行き不透明」(『MUFG BizBuddy』(三菱東京UFJ銀行)，2011. 3. 17，8頁)

「EU経済再生への挑戦—「リスボン戦略」から「欧州2020」戦略へ」(1) (『MUFG BizBuddy』(三菱東京UFJ銀行)，2011. 3. 31，7頁)

【学会報告】

「EUとヨーロッパ経済—現状と今後の展望(EU，フランス，ドイツ)」(〔財〕社会経済生産性本部，於：生産性本部ビル7階71セミナー室，2010. 10. 22)

南林 さえ子 教授

【現在の研究テーマ】

地域消費行動特性についての研究，高齢者の消費行動についての研究

【論文】

「高齢者の買物行動—埼玉県西部地域を事例として—」(『駿河台経済論集』第20巻第2号，2011. 3，pp. 127-151)

【報告書・研究ノート・その他】

「平成22年度 日高市消費動向調査報告書」(駿河台大学，飯能信用金庫，日高市，日高市商工会，2010. 12)

**野崎 謙二 教授**

**【現在の研究テーマ】**

インドシナ地域の経済開発，東アジアの産業集積

**【著書】**

『東アジアの新産業集積—地域発展と競争・共生—』(学術出版会，2010. 11, pp. 437-457) (共著)

**【論文】**

“The Characteristics of Japan’s Software Industry and Offshore Development in Dalian, China” (『地域学研究』第40巻第4号，2011. 3, pp. 1035-1048)

**【学会報告】**

「異業種交流活動が中小企業の事業活動に果たす役割」(名古屋大学大学院経済学研究科セミナー，於：名古屋大学，2010. 7)

「異業種交流活動から見た産業クラスター計画」(日本地域学会第47回年次大会，於：政策研究大学院大学，2010. 10)

**野田 裕康 教授**

**【現在の研究テーマ】**

ドイツ・オーストリアの資産課税

**八田 真行 専任講師**

**【現在の研究テーマ】**

オープン・イノベーションを促進する組織構造と制度の設計

**【著書】**

『日本人が知らないウィキリークス』(洋泉社，2011. 2, pp. 111~142) (共著)

『ised情報社会の倫理と設計 設計篇』(河出書房新社，2010. 5, pp. 85~146) (共著)

**【学会報告】**

『「ウィキリークス後」の世界における情報管理』(『国際大学GLOCOM研究ワークショップ』，於：国際大学GLOCOM，2011. 2)

「コミュニケーションの未来へ：集団の力—コミュニケーションから生まれる創造性」(『せんだいメディアテーク開館10周年事業トークセッション』, 於：せんだいメディアテーク, 2010. 12)

「Symbianとオープンソース：戦略と今後の課題」(『第2回Symbian Japan Forum』, 於：アカデミーヒルズ, 2010. 10)

“The Taming Of The Monster: How Software Patents Are Handled In Modern FLOSS Licenses” (‘Open World Forum 2010’, 於：Eurosites George V., 2010. 10)

林 好雄 教授

【現在の研究テーマ】

フランス現代思想と『正法眼蔵』

土方 幹夫 教授

【現在の研究テーマ】

河川再生事業におけるユニバーサルデザインの取り扱い, 野外活動の体験過程と自然認識の発達過程, 水辺の環境保全と活動組織の育成

【報告書・研究ノート・その他】

「未来を築く海の駅経営ノート」(『NPO法人海の駅ネットワーク街造り委員会 海の駅の漁港利用調査報告書』, 日本舟艇工業会, 2010. 3)

【地域活動】

埼玉県河川再生事業入間川再生計画 県土協議会 2010年5月

前田 悦子 准教授

【現在の研究テーマ】

少子高齢社会における公的年金制度, 諸外国の少子化対策

前山 加奈子 教授

【現在の研究テーマ】

中国の民国期における社会文化思想と女性刊行物

増田 珠子 准教授

【現在の研究テーマ】

イギリス演劇, 児童文学, 児童演劇

【著書】

現代演劇研究会編『現代演劇』第19号(英潮社フェニックス, 2011. 3)(共著)

【論文】

「ノエル・カワードと南の島—『南海泡沫事件』をめぐる—」(『津田塾大学言語文化研究所報』第25号, 2010. 7, pp. 17-29)

【学外・学内の研究助成受給状況】

(学外) 平成22年度科学研究費補助金 若手研究(B) 「ポストコロニアルの視点をふまえた第二次大戦後の英国演劇と『ホーム』の概念の研究」課題番号21720098

町田 欣弥 教授

【現在の研究テーマ】

組織の創造性と情報資源管理, 創発的組織行動支援システムについての研究

【著書】

『データベース + Access2007/2010』(実教出版株式会社, 2011. 1)(共著)

【報告書・研究ノート・その他】

「新製品・技術開発型中小企業における知識変容過程: 埼玉県西部ならびに隣接地域を中心にして」(『駿河台大学経済研究所所報』第13号, 2010. 9, pp. 71-88)(共著)

【学外・学内の研究助成受給状況】

(学内) 平成22年度経済研究所指定研究助成金 「地域企業における伝統と革新: 経営者行動の連続と変化を中心にして」

水尾 順一 教授

【現在の研究テーマ】

ブランドマネジメント研究, 経営倫理とコーポレート・ガバナンス研究, マーケティング倫理研究, CSR(企業の社会的責任)研究, 原子力の社会的

責任研究, BOPビジネス研究

【著書】

『コーポレート・ガバナンスと企業倫理の国際比較』(ミネルヴァ書房, 2010. 4) (共編著)

【論文】

「戦略的CSRの価値を内包したBOPビジネスの実践に関する一考察」(『駿河台経済論集』第20巻第1号, 2010. 9, pp. 1-36)

【学会報告】

「情報開示から価値共有へ」(日本広報学会基調講演)

【学外・学内の研究助成受給状況】

(学外) 平成22年度日本経営倫理学会CSR研究部会助成「企業と社会持続可能な発展をささえるCSRの研究」

(学内) 平成22年度在外研究助成「CSRおよびBOPビジネスの研究」(ロンドン大学客員研究員として)

鎗田 英三 教授

【現在の研究テーマ】

ドイツの製パン手工業の社会経済史的分析

【著書】

『製パンマイスターとナチス』(五弦舎, 2011. 3)

【論文】

「第二次世界大戦後のドイツ製パン手工業」(『駿河台経済論集』第20巻第1号, 2011. 9, pp. 37-78)

【報告書・研究ノート・その他】

「地域交流事業=駿大・地域フォーラムの活動の今まで」(『経済研究所所報』第13号, 2010. 9, pp. 3-7)

「地域が元気になるには一市(いち)の思想」(『駿大・地域フォーラム』第9号, 2011. 3, pp. 44-45)

【学外・学内の研究助成受給状況】

(学内) 平成23年度出版助成『製パンマイスターとナチス』

湯浅 由一 教授

【現在の研究テーマ】

バーゼルⅢの意義と含意についての分析

【論文】

「1999年以降の長期デフレ経済下の日本における民間銀行の行動」（『駿河台経済論集』第20巻第2号，2011. 3，pp. 93-106）

吉住 知文 教授

【現在の研究テーマ】

インド森林政策史 開発教育

【報告書・研究ノート・その他】

翻訳「カールトン具申書（翻訳）—植民地期インドのクールー地方の森林行政に抗して—」（『駿河台経済論集』第20巻第1号，2010. 9，pp. 101-111）

【学外・学内の研究助成受給状況】

（学外）平成22年度科学研究費補助金 基盤研究(C) 「インド森林政策史研究」課題番号22530346

渡辺 裕子 教授

【現在の研究テーマ】

介護政策へのタイムスタディ調査の応用，地方自治体の社会福祉計画に関する研究，若者の行動と少子化に関する研究

【論文】

「大学生における現代的恋愛の諸相」（『駿河台大学論叢』第41号，2011. 1，pp. 105-129）

【学外・学内の研究助成受給状況】

（学外）平成22年度科学研究費補助金 基盤研究(B) 「情報化社会における青少年の性行動の実態の解明と性教育の評価に関する実証的研究」課題番号22330143（分担）